

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2023年(令和5年)

10月15日(日)

第260号

毎月15日発行

平成13年4月17日

第三種郵便物認可

発行所 環境農業新聞社
編集発行人 成瀬一夫
東京都葛飾区東金町1-41-9
〒125-0041 フランス堂ビル3階
電話 03-3826-5212
FAX 03-3826-5217
年間購読料 3,000円(税・送料込)
郵便振替口座 00150-2-290578

- …秋田で機械化ショー……(1面)
- …あきたこまちR問題……(3,4面)
- …由井名誉会長の基調講演……(5面)
- …JPHMAコンgres……(8面)

日本最大級の祭典 秋田県種苗交換会

80万人の人出で賑わう 機械化ショー

聖農石川理紀之助翁 の出身地である潟上市 17年ぶりの開催に

秋田県農業機械化協会白石光弘会長あいさつ

日本最大級の農業の祭典「第146回秋田県種苗交換会」協賛の第75回農業機械化ショー(主催秋田県農業機械化協会)が11月2日から6日までの5日間、秋田県潟上市昭和工業団地において秋田クボタをはじめJAA全農あきたなどが最新の農業機械が展示される。毎年、会期中80万人の人出で賑わうことでも有名だ。主催者は秋田県機械化協会。そこで白石光弘秋田県農業機械化協会会長のあいさつとこれまで秋田県の機械化を進めてきた秋田県農業機械化協会同組合の白石理事長のあいさつを紹介する。



白石光弘会長

秋田県農業機械化協会
白石光弘会長のあいさつ

主催の秋田県農業機械化ショーが、この潟上市で開催されるに当たり、一言あいさつ申し上げます。はじめに当県では昨年に続きこの夏も豪雨災害が発生してまいりました。被害に見舞われた皆様、一日も早く普段の生活に戻れますことを心願いたします。

よりお祈り申し上げます。機械化協会として、できる限りのお手伝いをさせていただきます。秋田県種苗交換会も、今年で第146回を数えるに至りました。聖農石川理紀之助翁の出身地でもあります潟上市で種苗交換会が開催されるのは、2006年以来17年振りとなり、種苗交換会の協賛行事として発展してまいりました。農業機械化ショーは、全国の農業関連メーカーが集結する一大イベントとなっております。安全・盛況のうちに終わることを願っております。さて、当県では2010年から「米依存からの脱却」と「農業産出額の増大」を目標に掲げ、「複合生産構造への転換」を推進しています。園芸・方団地や大規模畜産団地の整備などの生産



気合いが入る白石会長(中央)



会期中の安全祈願を祈る



毎回、主催者が集まり開会式を行う

「第75回秋田県農業機械化ショー」が17年ぶりに開催されるに当たり、県内の農業機械販売整備事業関係者を代表して一言ご挨拶を申し上げます。石川翁は、秋田の二宮尊徳と称され、その生涯を農村の更生、農家の救済、農業の振興に捧げつづけた聖農として全国に名を知らしめており、明治11年に秋田県種苗交換会を創設し現在の礎を築

を数え、10年連続で200人を超えることができている。このような県内農業の基盤整備進行に伴い、経営規模拡大を目指す設置が増えている農業法人や効率化を追求するスマート農業への対応、農作業事故防止対策の充実など、我々協会の会員が果たすべき課題は少なくありません。安心して使える安全な機械、営農規模に合った機械の安価な、かつ安定した供給と、故障時のメン

と、平成以降最高値を記録するなどの実績を上げております。私達農業機械業界としては、こうした農業環境の変化を踏まえ水稲用の高性能機械に加え、園芸・方団地等への対応、更にICT・AI等の先端技術を駆使したスマート農業への取り組みが求められております。一方では、県内の大半を占める中小規模生産者層に向けた、安価で使いやすい、高性能で安全性を十分に考慮した機械の提供が必須となります。また、こうした生産者が将来にわたって持続的に発展して行くためには、競争力の高い経営体形の育成と高齢就農者の農作業事故防止対策の充実が必要となります。当組合では、最新鋭機の推進はもちろん、県認定整備施設、農機整備技能士、中

は、不断なく一致協力してまいります。むしろ、この会場に多くの来場者があると思われ、会員の皆様はもちろんのこと、ご来場者への安全に配慮していただきながら、最新鋭の農機やアイデア農業商品の展示・紹介を通して我々の取り組み姿勢を見ていただき、満足して帰っていただく対応をお願いします。また、会場設営にご尽力いただいた潟上市協賛会と工事関係者の皆さんにこの場をお借りして謝意を表しご挨拶いたします。

経営規模に合った機械の提供

秋田県農業機械化協会 白石光弘理事長

秋田県農業機械化協会同組合 白石光弘理事長のあいさつ

聖農 石川理紀之助翁の生誕の地である潟上市に於いて、第146回秋田県種苗交換会協賛事業「第75回秋田県農業機械化ショー」が17年ぶりに開催されるに当たり、県内の農業機械販売整備事業関係者を代表して一言ご挨拶を申し上げます。石川翁は、秋田の二宮尊徳と称され、その生涯を農村の更生、農家の救済、農業の振興に捧げつづけた聖農として全国に名を知らしめており、明治11年に秋田県種苗交換会を創設し現在の礎を築

を数え、10年連続で200人を超えることができている。このような県内農業の基盤整備進行に伴い、経営規模拡大を目指す設置が増えている農業法人や効率化を追求するスマート農業への対応、農作業事故防止対策の充実など、我々協会の会員が果たすべき課題は少なくありません。安心して使える安全な機械、営農規模に合った機械の安価な、かつ安定した供給と、故障時のメン



熱心に最新の農業機械を見に多くの人が来場する

は、不断なく一致協力してまいります。むしろ、この会場に多くの来場者があると思われ、会員の皆様はもちろんのこと、ご来場者への安全に配慮していただきながら、最新鋭の農機やアイデア農業商品の展示・紹介を通して我々の取り組み姿勢を見ていただき、満足して帰っていただく対応をお願いします。また、会場設営にご尽力いただいた潟上市協賛会と工事関係者の皆さんにこの場をお借りして謝意を表しご挨拶いたします。

本当に大丈夫なのか「あきたこまちR」

問題点10を挙げ異を唱える

自然農推進の由井代表

秋田県が全量転換へ 放射線育種米巡る動きに注視

「あきたこまち」に国が育成したカドミウム低吸収品種「コシヒカリ環1号」を交配し、得られた「あきたこまちR」に全量転換するという佐竹秋田県知事が方針を打ち出した。これに対して様々な意見が飛び交っている。佐竹知事は慎重な姿勢をみせていたが、一転して全面的に切り替える方針を表明。本当に安全なのか、消費者の健康に問題ないのかという議論が噴出している。宮城県では最初に動いたが取り止めた。兵庫県の生活協同組合では反対声明を出している。輸出振興というが、オーガニック志向の海外から一部の遺伝子を破壊する放射線育種が受け入れられるのかも疑問である。このことを知らない方も多いのも事実。あなたは賛成？反対？どちらでしょう。健康を重視し、自然農を推進している日本農受自然の由井代表は問題点10を挙げて異を唱えている。



あきたこまちRの問題点を唱える由井代表

秋田県では、2025年より「あきたこまち」を放射線育種米である「あきたこまちR」に全量転換しようとしている。それに対し、由井代表が10の問題点をあげ解説し、解決策も提案した。記事が環境農業新聞令和5年9月号に掲載されました。

再度、要点十補足して説明します。

問題点1 栄養不足 「あきたこまちR」は、重イオンビーム照射による育種米(コシヒカリ環1号)とあきたこまちの交配による新品種で、コメのOsmains(オー・エヌ・エヌ・ランブ・フアイフ)遺伝子が破壊されているため、カドミウムが吸収されないだけでなく、骨格異常など様々な体調不良につながります。

問題点2 日本中のコメがマンガン欠乏米になる 実際、宮城県では「ひり環1号」交配種への採用に最初に動いていますが、栽培試験で収量が上がり取り止めた経緯があります。切り替え検討の際もリスクを想定して一部導入から検討していました。

問題点3 汚染地域はそれほど多くない カドミウム基準値である0.4ppmを超えるお米は秋田県で年約400トン発生しますが、これは秋田県の生産量の0.1%です。さらに全国では約1000トン発生しますがこれは0.01%です。汚染地域だけ低カドミウム吸収米に切り替えれば済むはずなのに、全量をマンガン欠乏米に転換するのはやり過ぎではないでしょうか。

問題点4 農家が自家採種できない コメのOsmains遺伝子を重イオンビームによって破壊されたコメは、登録品種として品種登録されているため、2022年から施行された改正種苗法によって、農家が自由に自家採種し種を備蓄する権利が、遂に主食のコメでも奪われる時代が到来したのかもしれない。しかも登録品種です。しかも自家採種し、許諾なく自家採種したら農業法人では最大3億円の罰金と懲役刑にも問われます。

問題点5 重イオンビームが使われている 放射線育種は、60年前からある技術で安全が確認されていると自然の変異と同じであると主張される人がいますが、これは間違いです。

問題点6 交雑による異種遺伝子の汚染が広がる コメのOsmains遺伝子を破壊された「あきたこまちR」が実際に栽培されると、交雑によって異常遺伝子の汚染が広がり、将来正常な遺伝子のコメが失われる可能性も考えられます。これは「あきたこまちR」以外のコメの農家にとって死活問題です。

問題点7 選択権が失われる 品種名の表示義務がないため「あきたこまちR」に切り替えても、銘柄名「あきたこまち」として販売できてしまいがちです。これは明らかに食品表示システムの欠陥です。

問題点8 あきたこまちRは、EU有機原則ではORGANICにならないのに、日本ではJAS有機認定される方向にある 「EU」などにも有機農産物として輸出できる」と主張されている人がいますがこれは間違いです。EU基準ではORGANICと認められない放射線・重イオンビームを照射しての突然変異を利用し品種改良した「コシヒカリ環1号」及びこれと交配させて開発した「あきたこまちR」などの重イオンビーム育種米は、たとえ無農薬で作ってもEUではORGANICと認められません。

問題点9 あきたこまちRを全量転換してもカドミウム対策としては不十分である 日本は火山国でもともと土壌のカドミウム値は高く、鉱山開発などで土壌が広くカドミウム汚染され長年放置されてきました。そのため食品の基準値を設定して人体のカドミウム蓄積を抑える受身の対策だけでは不十分です。カドミウムはコメ以外からもタバコやナッツ類、魚介類などからも摂取され、蓄積されます。積極的な解決策としては、カドミウムのデトックス対策があります。お奨めは重金属や有害物質の体外への排出に秀でた欧州発祥の自然療法ホメオパシー(同種療法)の活用です。

問題点10 「その症状を起こすものはその症状を取っていく」という同種の原理に基づき、カドミウムの排出にはカドミウムを希釈振盪して天文学的に薄めたレメディを使うのが有効です。

またホメオパシーに基づき、食事やインナーチャイルド癒しを含む「ZENホメオパシー」がカドミウム対策としては必要であると考えています。

「ZENホメオパシー」では、カドミウムに限らず、水銀や農薬、ワクチンやクソの害など様々なデトックスに有効です。ぜひ試してみてください。

■カドミウムの霊性的役割(私の導師からの情報) カドミウムは地球にとって、地球の動きをよくするビタミン剤的なもの、頭の回転がよくなるようなもの。カドミウムによって地球の意識がはつきりしてくる。よい考



秋田県種苗交換会協賛の機械化ショーは大勢の人で賑わう

問題点3 汚染地域はそれほど多くない カドミウム基準値である0.4ppmを超えるお米は秋田県で年約400トン発生しますが、これは秋田県の生産量の0.1%です。さらに全国では約1000トン発生しますがこれは0.01%です。汚染地域だけ低カドミウム吸収米に切り替えれば済むはずなのに、全量をマンガン欠乏米に転換するのはやり過ぎではないでしょうか。

問題点4 農家が自家採種できない コメのOsmains遺伝子を重イオンビームによって破壊されたコメは、登録品種として品種登録されているため、2022年から施行された改正種苗法によって、農

家の皆さまには一般品種・在来種の「あきたこまち」の種籾を備蓄し、毎年一定量作付けして備える必要があると思います。

問題点5 重イオンビームが使われている 放射線育種は、60年前からある技術で安全が確認されていると自然の変異と同じであると主張される人がいますが、これは間違いです。

問題点6 交雑による異種遺伝子の汚染が広がる コメのOsmains遺伝子を破壊された「あきたこまちR」が実際に栽培されると、交雑によって異常遺伝子の汚染が広がり、将来正常な遺伝子のコメが失われる可能性も考えられます。これは「あきたこまちR」以外のコメの農家にとって死活問題です。

問題点7 選択権が失われる 品種名の表示義務がないため「あきたこまちR」に切り替えても、銘柄名「あきたこまち」として販売できてしまいがちです。これは明らかに食品表示システムの欠陥です。

問題点8 あきたこまちRは、EU有機原則ではORGANICにならないのに、日本ではJAS有機認定される方向にある 「EU」などにも有機農産物として輸出できる」と主張されている人がいますがこれは間違いです。EU基準ではORGANICと認められない放射線・重イオンビームを照射しての突然変異を利用し品種改良した「コシヒカリ環1号」及びこれと交配させて開発した「あきたこまちR」などの重イオンビーム育種米は、たとえ無農薬で作ってもEUではORGANICと認められません。

問題点9 あきたこまちRを全量転換してもカドミウム対策としては不十分である 日本は火山国でもともと土壌のカドミウム値は高く、鉱山開発などで土壌が広くカドミウム汚染され長年放置されてきました。そのため食品の基準値を設定して人体のカドミウム蓄積を抑える受身の対策だけでは不十分です。カドミウムはコメ以外からもタバコやナッツ類、魚介類などからも摂取され、蓄積されます。積極的な解決策としては、カドミウムのデトックス対策があります。お奨めは重金属や有害物質の体外への排出に秀でた欧州発祥の自然療法ホメオパシー(同種療法)の活用です。

問題点10 「その症状を起こすものはその症状を取っていく」という同種の原理に基づき、カドミウムの排出にはカドミウムを希釈振盪して天文学的に薄めたレメディを使うのが有効です。

またホメオパシーに基づき、食事やインナーチャイルド癒しを含む「ZENホメオパシー」がカドミウム対策としては必要であると考えています。

「ZENホメオパシー」では、カドミウムに限らず、水銀や農薬、ワクチンやクソの害など様々なデトックスに有効です。ぜひ試してみてください。

■カドミウムの霊性的役割(私の導師からの情報) カドミウムは地球にとって、地球の動きをよくするビタミン剤的なもの、頭の回転がよくなるようなもの。カドミウムによって地球の意識がはつきりしてくる。よい考

里環1号」や「あきたこまちR」の全ゲノム解析が行われ、遺伝子のフレームシフトや大きな変異が起きていないことを証明する必要があります。

問題点6 交雑による異種遺伝子の汚染が広がる コメのOsmains遺伝子を破壊された「あきたこまちR」が実際に栽培されると、交雑によって異常遺伝子の汚染が広がり、将来正常な遺伝子のコメが失われる可能性も考えられます。これは「あきたこまちR」以外のコメの農家にとって死活問題です。

問題点7 選択権が失われる 品種名の表示義務がないため「あきたこまちR」に切り替えても、銘柄名「あきたこまち」として販売できてしまいがちです。これは明らかに食品表示システムの欠陥です。

問題点8 あきたこまちRは、EU有機原則ではORGANICにならないのに、日本ではJAS有機認定される方向にある 「EU」などにも有機農産物として輸出できる」と主張されている人がいますがこれは間違いです。EU基準ではORGANICと認められない放射線・重イオンビームを照射しての突然変異を利用し品種改良した「コシヒカリ環1号」及びこれと交配させて開発した「あきたこまちR」などの重イオンビーム育種米は、たとえ無農薬で作ってもEUではORGANICと認められません。

問題点9 あきたこまちRを全量転換してもカドミウム対策としては不十分である 日本は火山国でもともと土壌のカドミウム値は高く、鉱山開発などで土壌が広くカドミウム汚染され長年放置されてきました。そのため食品の基準値を設定して人体のカドミウム蓄積を抑える受身の対策だけでは不十分です。カドミウムはコメ以外からもタバコやナッツ類、魚介類などからも摂取され、蓄積されます。積極的な解決策としては、カドミウムのデトックス対策があります。お奨めは重金属や有害物質の体外への排出に秀でた欧州発祥の自然療法ホメオパシー(同種療法)の活用です。

問題点10 「その症状を起こすものはその症状を取っていく」という同種の原理に基づき、カドミウムの排出にはカドミウムを希釈振盪して天文学的に薄めたレメディを使うのが有効です。

またホメオパシーに基づき、食事やインナーチャイルド癒しを含む「ZENホメオパシー」がカドミウム対策としては必要であると考えています。

「ZENホメオパシー」では、カドミウムに限らず、水銀や農薬、ワクチンやクソの害など様々なデトックスに有効です。ぜひ試してみてください。

■カドミウムの霊性的役割(私の導師からの情報) カドミウムは地球にとって、地球の動きをよくするビタミン剤的なもの、頭の回転がよくなるようなもの。カドミウムによって地球の意識がはつきりしてくる。よい考

放射線育種米の品種に全量転換するあきたこまち

致命的な欠陥を抱える

問題点10に理解すすむ



秋田県種苗交換会で議論を

他県で回避も EUでオーガニック外に

消費者団体が反対声明

3面からつづく

えが出るようになる。カドミウムは地球にいい仕事をしてもらいたいと思

一方人間に対しては、地球を悩ます存在だと思

これがカドミウムの意志であり、微量のカドミウムは、人間の特別扱い

「悪い」として特別に許される」という思いの強い人は、カドミウムの悪影響を受けやすく、蓄積しやすいが、「悪いこと

「悪い」として特別に許される」という思いの強い人は、カドミウムの悪影響を受けやすく、蓄積しやすいが、「悪いこと

だから微量のカドミウムは人間の精神を健全に保つ役割もある。そして「悪い」として特別に許される」という思いの強い人は、カドミウムの悪影響を受けやすく、蓄積しやすいが、「悪いこと

放射線育種米にするカドミウムが吸収されな

「悪い」として特別に許される」という思いの強い人は、カドミウムの悪影響を受けやすく、蓄積しやすいが、「悪いこと

カドミウムを排出 人体に蓄積したカドミウムは、御古菌で減らす

米のカドミウムの基準値は0.4ppmだが、カドミウムが0.5ppm

とようけTV、ニコニコ動画で公開



秋田県で計画延期および見直しを迫る

交換しているのは、お米自身の働きや考えというよりも、もっと大きな自然界の働きによって生じていること。自然全体が

科学者は猛省して 科学者の皆様はこの点を是非一度立ち止まって深く考え猛省していただきたい。

無知は罪なり。今一度人間は大なる自然に、ご神仏様に生かされている理を知り、謙虚に自然と共に人と虫と共

秋田県出身の橋本孝子 ホメオパシスは父が秋田県で無農薬で無農薬にんじくを栽培しており、「あきたこまちR」の問題に

「悪い」として特別に許される」という思いの強い人は、カドミウムの悪影響を受けやすく、蓄積しやすいが、「悪いこと

種々の劣化、土地の劣化、土壌菌の劣化、作物の病虫害への耐久力の劣化、栄養の劣化は何が引き起こしたのか?

「遺伝子操作は原子力以上に私たちの未来に大きな影響を与えるでしょう。私たちが今、何をすべきか真摯に考えなければなりません。」

た。しかし、政府や原子力の専門家たちは「事故は100万年に一回しか起きない」



【分子生物学者】河田昌東氏からのメッセージ

「遺伝子操作は原子力以上に私たちの未来に大きな影響を与えるでしょう。私たちが今、何をすべきか真摯に考えなければなりません。」

第24回 JPHMA
コンングレス
由井寅子名誉会長の基調講演

4つの症例改善を語る

ワクチン・薬害のケース等

日本ホメオパシー医学協会の由井名誉会長は2日間にわたり基調講演をおこなった。由井名誉会長は自ら自然農を静岡伊豆半島と北海道洞爺で展開し、農産物の付加価値をあげるため加工品、化粧品などにも力を注いでいる。世田谷の用賀にはオーガニックレストランを経営している。



由井名誉会長

原病のフタがあるとなかなか治療に導くことができませんが、医原病のフタをどうやって外し、治療に導いていくかに注目していただきたいと思います」と前置きし発表しました。ケース①40代女性

主訴：子宮頸がんの子供の頃よりインフルエンザワクチンを毎年接種、30代子宮頸がんワクチン2回接種。不正出血、子宮頸がんステージIB3と診断。その後子宮頸がんIV(4)期(末期)になりました。

2回目の相談会で選択したレメディーは子宮頸がんワクチンを希釈振盪したレメディー。するとクライアントからの報告で、好転反応による症状が辛いので子宮頸がんワクチンを希釈振盪したレメディーはとるのをいったん止めたそうです。

子宮頸がんワクチンを希釈振盪したレメディー30Cで反応が如実に出ていたことから、やはりこの子宮頸がんワクチンが悪さをしていたのかと分かった。と由井名誉会長、ホメオパシーは同種療法です。その後、このクライアントはインナーチャイルド(以下インチャ)

癒しと祝詞心経に取り組み中で子宮頸がんワクチンのレメディーを再開。そうすると、以前のような副作用は全く無く、クライアントからも「もう子宮頸がんワクチンとは体から無くなったと感じる」という報告が。その後、子宮頸がんの経過は良好で、全く癌の形跡が残っておらず、影も無いと医師からも驚かれたようです。由井名誉会長からは子宮頸がんワクチンとインフルエンザワクチンの霊的見解が解説されました。ケース② 40代女性主訴：酷いアレルギー性鼻炎。ステロイドによって病気がなくなったケース。この方もワクチン・薬害の害のケースであり、そして幼少期に壮絶な事件があり、また母から愛されな

かった深いインチャのケースでもあります。このケースでも原因となったと思われるステロイドを希釈振盪したレメディーをすることで好転反応が強くなってしまいました。由井名誉会長からはステロイドの霊的見解を解説。このクライアントのインチャとリンクする関係が見られました。その後の相談会で「サポート魂の目覚め」が出されましたが、この方はこのサポート魂を取り、インチャの癒しに取り組み、魂の目的である霊性の道を行く中で、霊性が目覚ましく上がって行ったという素晴らしいシェアがなされました。

「私達はこの世に生きながら、前世や過去世の影響を受け、親や先祖のインチャのアプローチ後、命操作を産業的手段にしており、将来の自然生態系への影響に懸念があります。放射線問題の専門家でもある河田先生は、トリチウム汚染水放出の生物学的な影響について説明した。タンパク質やDNAには水素原子がたくさん含まれています。これらの水素原子がトリチウムに置き換わったものをOBT(Organic bound tritium)と呼びます。OBTがどうやってできるかという点、例えば、光合成では、二酸化炭素と水と光エネルギーからブドウ糖を作りますが、この時にトリチウム水を取り込んでしまつた場合、その影響を受けている。魂の影響を受けている。魂の傷を癒すレメディーや、過去世や先祖の意識を癒すレメディーを探し求め、日本中の神社仏閣、霊山を駆け巡って、Japan Spiritualityレメディーを作りました。Japan Spiritualityレメディーをおかけ様で多くの治りにくく、難しい患者さん達まで治療に導けるようになったのです」の報告。ケース③ 50代女性主訴：子宮筋腫による大量出血。この方は子宮筋腫で毎月月経が来るたびに大量の鮮血が出て貧血になる。またその多量の鮮血を見るたびに恐怖になりパニックになる。由井名誉会長は、この方は過去世の感情も入れてレメディーを選びました。この方がなぜ臆病になり、雨が降ると不安になるのはなぜか？この

ユーではサポート過去世を飲んだら首への症状が現れ、またこの症状に連なる過去世の記憶が出て来たという報告があり、気づきと熱意、そして涙が凄く出た後、エネルギーと霊格が上がり、調子がとても良くなったそうです。由井名誉会長への感謝が述べられました。ケース④ 30代男性主訴：引きこもり生まれ、ずっと実家から出られない。鬱状態。何らかの心理的要因によって、一時期にあらゆる場面、あるいは特定の場面においてのみ、言葉を発しない状態を指します。雨になると無償に不安になり、眠れない傾向もありました。この方がなぜ鬱病になり、雨が降ると不安になるのはなぜか？この

ケースも今の主訴にクライアントの過去世が深く関わる非常に興味深い内容でした。クライアントは前世で地域を見守る業務に当たっており、そこで起こったあるショックな事件が今世の現在の状態に繋がっているようです。またこの方の霊的見解として、激しい後悔と悲しみがある反面、神のような力があるというプライド意識が強いという点で、由井名誉会長の相談会でそのような見解がクライアントに告げられました。その後、選択されたレメディーをやる中で、象徴的な夢を見、そして本人の報告とサポートナーからの報告とで認識のずれがありながらも、大きく変化・改善があったようです。

突然変異 自然と人工は別

河田昌東氏、来賓講演



河田昌東氏

【来賓講演】「遺伝子を破壊・操作する技術の何が問題か」河田昌東(分子生物学者)

河田氏は、メンデルの法則の発見から現代のゲノム編集技術までの歴史を語った。1865年の遺伝という現象の発見に始まり、線(電磁波)照射によるものが長く行われていま

DNAの発見、突然変異と進化の関係、放射線による突然変異、DNA二重らせん構造、遺伝子組換え研究と安全対策会議、除草剤耐性作物の商品化、ゲノム編集技術の進み、2012年にはより効率の良いゲノム編集技術としてCRISPR-Cas9が登場しました。放射線照射して突然変異を起こす技術は古くから存在します。ガンマ線(電磁波)照射によるDNAは一日約2万カ所が

壊れています。このほとんどがDNA一本鎖切断であり、DNA修復酵素でほぼ正確に修復されます。この際にまれに起こる修復ミスが自然突然変異ですが、変わり方は塩基が一つ異なるものに置き換わる場合がほとんどです。従来の品種改良はこのような現象を利用してきました。

今、重イオンビーム照射とゲノム編集が話題になっていますが、どちらもDNAの二本鎖切断を起しやすく、DNA修復ミスによる問題(大規模な遺伝子の欠損や他の位置への挿入)が多くあります。しかし、変異が起きやすいことが、経済

性が良い、産業化に向いていると捉えられてしまっています。また、ゲノム編集特有の問題点として、オフターゲット(標的外遺伝子の破壊)、大規模なDNAの破壊、進化に対する逆行(自然突然変異はDNAの機能をしない部分に蓄積されるが、ゲノム編集では機能している遺伝子を破壊する)もあるそうです。そして、遺伝子操作技術は単なる技術的な問題だけではなく、倫理的問題も教えていただく必要があります。すでに、豚の臓器を人に移植すること、皮膚細胞などから卵細胞を作ること、デザイン

フードテックに懸念。さらに、フードテック(昆虫食、培養肉、スギ花粉症対策米など)も生

命操作を産業的手段にしており、将来の自然生態系への影響に懸念があります。放射線問題の専門家でもある河田先生は、トリチウム汚染水放出の生物学的な影響について説明した。タンパク質やDNAには水素原子がたくさん含まれています。これらの水素原子がトリチウムに置き換わったものをOBT(Organic bound tritium)と呼びます。OBTがどうやってできるかという点、例えば、光合成では、二酸化炭素と水と光エネルギーからブドウ糖を作りますが、この時にトリチウム水を取り込んでしまつた場合、その影響を受けている。魂の影響を受けている。魂の傷を癒すレメディーや、過去世や先祖の意識を癒すレメディーを探し求め、日本中の神社仏閣、霊山を駆け巡って、Japan Spiritualityレメディーを作りました。Japan Spiritualityレメディーをおかけ様で多くの治りにくく、難しい患者さん達まで治療に導けるようになったのです」の報告。ケース③ 50代女性主訴：子宮筋腫による大量出血。この方は子宮筋腫で毎月月経が来るたびに大量の鮮血が出て貧血になる。またその多量の鮮血を見るたびに恐怖になりパニックになる。由井名誉会長は、この方は過去世の感情も入れてレメディーを選びました。この方がなぜ鬱病になり、雨が降ると不安になるのはなぜか？この

ユーではサポート過去世を飲んだら首への症状が現れ、またこの症状に連なる過去世の記憶が出て来たという報告があり、気づきと熱意、そして涙が凄く出た後、エネルギーと霊格が上がり、調子がとても良くなったそうです。由井名誉会長への感謝が述べられました。ケース④ 30代男性主訴：引きこもり生まれ、ずっと実家から出られない。鬱状態。何らかの心理的要因によって、一時期にあらゆる場面、あるいは特定の場面においてのみ、言葉を発しない状態を指します。雨になると無償に不安になり、眠れない傾向もありました。この方がなぜ鬱病になり、雨が降ると不安になるのはなぜか？この

ユーではサポート過去世を飲んだら首への症状が現れ、またこの症状に連なる過去世の記憶が出て来たという報告があり、気づきと熱意、そして涙が凄く出た後、エネルギーと霊格が上がり、調子がとても良くなったそうです。由井名誉会長への感謝が述べられました。ケース④ 30代男性主訴：引きこもり生まれ、ずっと実家から出られない。鬱状態。何らかの心理的要因によって、一時期にあらゆる場面、あるいは特定の場面においてのみ、言葉を発しない状態を指します。雨になると無償に不安になり、眠れない傾向もありました。この方がなぜ鬱病になり、雨が降ると不安になるのはなぜか？この

第24回 JPHMA コングレス 日本豊受自然農各部門のリレー発表

安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物

愛をこめて作業に全力 若人、自然に感謝し仕事を

第24回日本ホメオパシー医学協会コングレスで日本豊受自然農のリレー発表が農場と会場から行われた。まさに現代医学を食の面から改善していくには自然農が必要不可欠ということがますます見せつけられた。その報告を協会スタッフが書いた記事を紹介する。

【豊受自然農リレー発表】苦勞した初夏播き人參の発芽に成功した重要な要素について「小山修人參のパワフルで元気な色、かわいらしさが大好きという小山さん。初夏時き発芽に苦勞し、後

【豊受自然農リレー発表】除草を行い、畑が美しい黄緑色へと変わった。由井先生、仲間達に感謝をすると共に、光を求めて徒長してしまっ人參に申し訳なく思いました。今度の目標は、元気な人參を日本中に届ける事、今後は御古園散布と間引きを行い、仲間と協力し、先生の指導を仰ぎながら全力で人參の成長をサポートして

【豊受自然農リレー発表】石田さんはゴーヤ等の栽培を担当されています。ゴーヤの元気が無くなってしまう、時期として終りなのかと思っていた

【豊受自然農リレー発表】二種取りの重要性を落花生畑から「数原賢明」豊受自然農では、在来種、固定種の種(洞爺など入れると、種取りして

【豊受自然農リレー発表】二種取りの重要性を落花生畑から「数原賢明」豊受自然農では、在来種、固定種の種(洞爺など入れると、種取りして

【豊受自然農リレー発表】二種取りの重要性を落花生畑から「数原賢明」豊受自然農では、在来種、固定種の種(洞爺など入れると、種取りして

【豊受自然農リレー発表】二種取りの重要性を落花生畑から「数原賢明」豊受自然農では、在来種、固定種の種(洞爺など入れると、種取りして



人參担当野菜班・小山さん



野菜班チーフ・石田さん



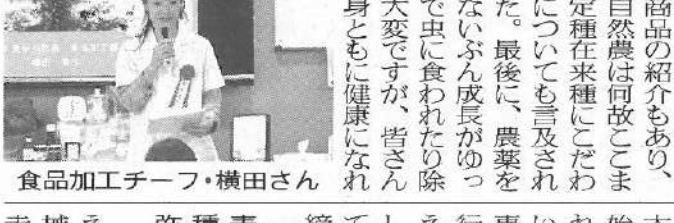
日本豊受自然農で種採り担当をしています



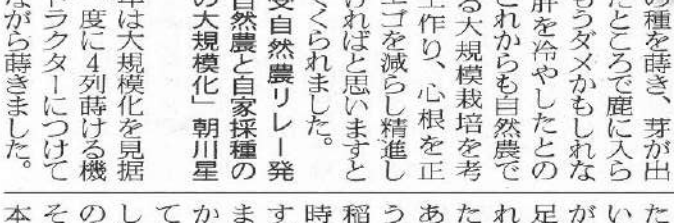
種栽りを担当、数原さん



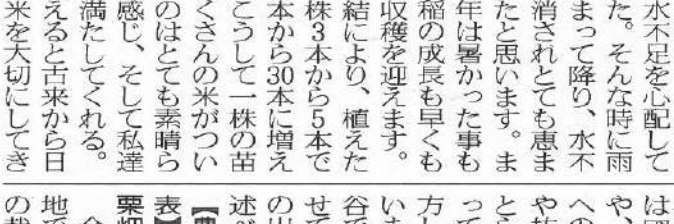
大豆・麦担当、朝川さん



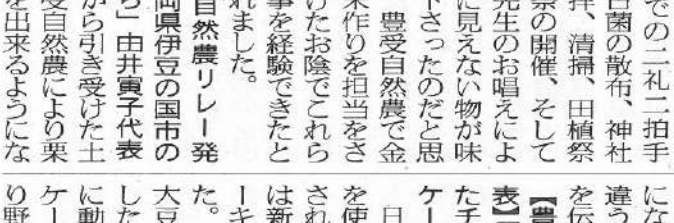
米班チーフ・川原さん



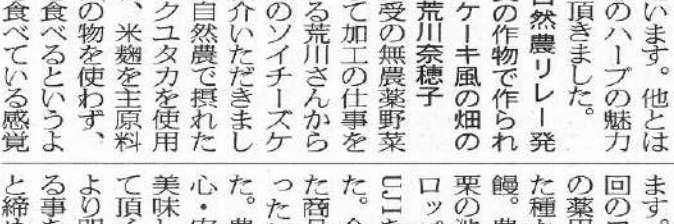
大豆・麦担当、朝川さん



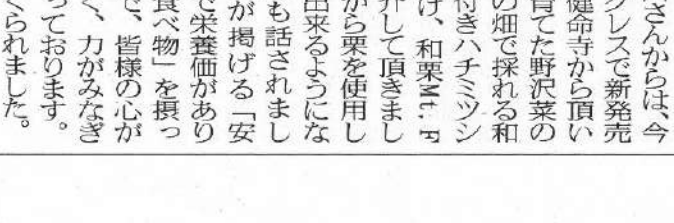
自然農体験の吉岡さん



伊豆の国市栗畑から



洞爺農場・米丸さん、澤田さん



食品加工チーフ・横田さん

【豊受自然農リレー発表】私(豊受自然農)は、今年も無事に収穫できる事を嬉しく思います。今年の豊受米が、とても美味しくなりました。自然の風景を見て頂き、自然農の素晴らしさを伝えて頂きたいです。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。



豊受式自然農を使った豊受式自然農実践する福島の発表



初日

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

【豊受自然農リレー発表】洞爺の遅く生きるハープの様子「米丸輝久・澤田美史」北海道洞爺農場からは米丸さん、澤田さんからのライブ中継がありました。現在のエキネシナ、カレンデュラの様子やハープの香り、夏の猛暑の中での植物の力を見せつけられた体験を通し、毎年の気候の違いに植物は何も言わず適応しているハープは、本当に素晴らしいと学ばせて頂いています。豊受自然農から自然採取し、農薬や化学肥料を使用せず土壌菌や自然の力を借りて育てた作物を使用し、無添加調理している為、安心・安全はもちろん、野菜本来の栄養価が保たれています。横田さんからは、今回のコングレスで新発売の薬用山健命寺から頂いた種から育てた野菜の燻製。豊受の畑で採れる和栗の渋皮付きハチミツシロップ漬け、和栗と「ココ」を紹介して頂きました。今年から栗を使用した商品が出来たように感じた経緯も話されました。豊受が掲げる「安心・安全で栄養価があり美味しい食べ物」を掲げて頂く事で、皆様の心がより明るく、力がみなぎる事を願っております。と締めくくられました。

環境農業新聞

メール:ecoagri-na@sweet.ocn.ne.jp

2023年(令和5年)

10月15日(日)

第260号

毎月15日発行

平成13年4月17日

第三種郵便物認可

発行所 環境農業新聞社
編集発行人 成瀬一夫
東京都葛飾区東金町1-41-9
〒125-0041 フランス堂ビル3階
電話 03-3826-5212
FAX 03-3826-5217
年間購読料 3,000円(税・送料込)
郵便振替口座 00150-2-290578

環境農業新聞購読方法

年3,000円

毎月15日発行

FAX、メールでお申し込み下さい。

郵便振替口座 00150-2-290578



時代はホメオパシーと自然農

第24回JPHMAコンGRES

医療の先端はホメオパシー

24回継続で参加者一万人超え



道繁大会長

日本ホメオパシー医学協会主催の第24回JPHMA AコンGRESは10月14、15日の両日、「国難の現実を知り自らできるベストをつくそう」をテーマに、CH ZENホメオパシーと自然農をテーマに、CH Home東京校ライブ会場及び自宅参加とオンライン & アーカイブ視聴(現在もJPHMA AコンGRES特設サイトから無料視聴可能)を組み合わせ、一般公開の形で開催した。参加者は1万名を超え、数々の症例発表は、現代医学で治療出来なかったことが改善に向かうという信じられない事例が相次いだ。(関連記事5、6面)

コンGRESは、最新の講演に学び、活動の成果を症例発表で披露する学術大会。

今大会では、海外来賓として、ケイト・バーチ

発表。

また、国内来賓として、豊受クリニック院長の高野弘之氏が自然派医師の立場からの講演、信州大学元特任教授小谷宗司氏が薬草、伝統薬専門家の立場からの講演、分子生物学者の河田昌東氏が公害訴訟、放射能健康汚染問題、遺伝子編集技術の問題に取り組み科学者の立場からの講演、国史啓

国難の現実を知り自らできるベストをつくそう

蒙家の小名木善行氏が国史啓蒙家の立場からの講演を行った。

道繁大会長は現在、放射線育種米やコロナワクチン、インボイスなど日本人が困窮するしくみが導入され、知れば知る程、光が見えないこともある。そのような中でオセロのように一人一人が周りの人と協力して自に変えていく、健康を大切にすることが大切だ。多くの人々が、気づき始めています。ZENホメオパシーは世界を変える療法です。今大会でホメオパシーを知り、身近な人に伝えてほしいと思

います」と挨拶。続いて、由井眞子名誉会長は「この世の中がどんどん変わっています。闇がだんだん明らかになってきています。自分の命は自分で救うのです。智慧なきものは自然淘汰されてしま

います。コロナワクチン、農薬、化学肥料、食品添加物、遺伝子組換えなどが導入され、様々な問題を引き起こしています。人間は浅はかな知識で様々なものをいじくりまわし、その結果、人間に恩恵が与えられることはありません。今大会は第24回となり、24回もやれるというところはすごい

ことです。継続は力なり。どんなことがあってもあきらめない、地道にやっていくことに意味があります。自己治療力を触発して健康になるホメオパシーがますます大切になってきます。医療の先端はホメオパシーです。本日、24回の大会を開くことができることを喜んでいきます」と挨拶した。

そしてJPHMA認定。ホメオパスたちによる学術発表として、癌、甲状腺機能低下症、亢進症、癩癧、重症筋無力症、自己炎症性疾患、アトピー、うつ、ひきこもり、自傷行為と様々な病気や心の問題をZENホメオパシーで自己治療力を触発し、自らの力で治るサポートをして次々と改善するケースを具体的に発表された。

東北有志医師の会と

橋本孝子さん コロナワクチン接種言及



「コロナワクチン接種後の体調不良にホメオパシー等の自然療法で改善を図っているケース」を

テーマに橋本孝子さんは話を展開した。

6回目のコロナワクチンを打った次の日から、両足の激痛に苦しんでいる方のケース。4回目の後は腰痛。5回目の後も違った症状と摂取のたびに新たな症状が加わった

ろうとしています。世界の経済成長はこれまで主に石油化学を主とした様々な物質(プラスチックなど)の製品を手段としてきました。世界の資本家は、今後は生命操作を経済成長の手段としてしようとしています。放射線による品種改良はこれまで使われてきましたが、今後はゲノム編集や合成生物学、フードテックなどがAIとともに資本主義の手段になるでしょう。その結果何がもたらされるか、誰もわかりません。

ゲノム編集の現況は53年前に日本で初めて商業用原発が稼働した時に似ています。核兵器はだめだが平和利用は未来のエネルギー、とマスコミも湧き立ったのです。しかし、当時から一部の人は「事故が起きたらどうする」「放射性廃棄物はどうする」と指摘していました。しかし、政府や原子力の専門家たちは「事故は100万年に一回しか起きない」「廃棄物はそのうち何とかなくなる」と言いました。それから50年以上たった今、何一つ解決できていません。遺伝子操作は原子力以上に私たちの未来に大きな影響を与えるでしょう。

インドホメオパス20万人超え

小名木氏、治癒力を引き出す



モディ首相



小名木氏

【小名木善行氏「国史啓蒙家の立場から」講演の冒頭では、自身のエピソードとして、蕎麦屋を営みもっていた奥様の義理のお兄様が新型コロナワクチン5回目接種後、全く布団から起

き上がれず日常生活もお仕事も、好きなお酒も

飲めるようになったという体験を披露。小名木善行先生発表より抜粋。近頃、迷惑注射という言葉で、迷惑注射するのと罰金払わされるのとが迷惑注射で切符切られまして、迷惑注射を5回やっちゃった突然、寝込んでしまったと思ったらもう起き上がれなくなっちゃって親戚一同、もう終わらだなど由井先生のところに連絡を

とりまして「先生、なんとかなりませんか?」と。言って小さいビン(Men'ski-S-G)を送っていただいた。ペットボトルの500mlの水に15滴垂らしてペットボトルで1日1本飲んでいたらなんとです。よかったです。寝たきりだった兄ちゃん(72歳)が1週間で起き上がったと思ったらそのま

【分子生物学者 河田昌東氏からのメッセージ】「遺伝子操作は原子力以上に私たちの未来に大きな影響を与えるでしょう。私たちは今、何をすべきか真剣に考えなければなりません。」

【海外来賓講演】「今、今回のコンGRESは国際大会として、モディ首相以下、政府、国民あげてホメオパシーの健康向上に取り組むインドからアムルパン・スグル博士から科学者の立場から研究成果を発表、世界で新型コロナワクチン薬害の解決法が模索される中、米田からケイト・バーチ氏が行った。両日の発表動画アーカイブは大会特設サイトから無料で視聴できます。」